

問4

正解 ○

解説

普通のお米（精白米）は、玄米から胚芽と糠（ヌカ）を取り除いていますが、表面にはまだ粘着性のある肌ヌカが残っています。無洗米はその肌ヌカをあらかじめ工場に取り除いているので、とぐ必要がありません。

無洗米規格では、「洗わずに炊けること。（手で4～5回洗った米と同程度にほぼ完全にヌカが取り除かれていること）」と定義されています。

現在、無洗米をつくるには下記の3つの製法があります。

- (1) 乾燥法 ヌカを水で洗い落として乾燥させる方法
- (2) BG 精米法 ヌカが他のヌカとくっつくという性質を利用して、ヌカでヌカをとる方法
- (3) 湿式法 水を使ってお米の表面をやわらかくし、タピオカなどでヌカを取り除く方法

問3

正解 500ℓ

解説

牛の乳房に浮き出た筋やこぶ—これは牛の血管なのですが、実はこの血管を流れる血液こそが、私たちの普段何気なく飲んでいる牛乳の源なのです。胃を経て消化吸収された栄養素は、血液によって全身へ運ばれます。その中でも乳房へ運ばれた血液は、血管を通じて乳房の中にある乳腺細胞というところに栄養を運びます。その乳腺細胞が、血液中の栄養素を取り込んでお乳の成分を作り出すのです。牛乳1パック分のお乳をつくるのに必要な血液はなんと400～500リットル。母牛は1日に20～30リットル分のお乳を作り出す事から、単純計算すると、毎日約1万リットルもの血液を乳房に送り込んでいることとなります。母牛はお乳をつくるために、こんなに頑張っているのです。

問6

正解 ×

解説



きのこは、倒木や切り株などによく発生したことから「木の子」と言われるようになりました。

きのこは植物ではなく菌類に属し胞子で繁殖しています。また、きのこの細胞には葉緑素がないために地力で生育することができません。そのため、樹木や落ち葉などに菌糸を張りめぐらせ栄養源としています。そして、胞子を生産するために菌糸の集合体である子実体（しじつたい）を作ります。この子実体を「きのこ」と呼んでいます。植物に例えると、きのこの胞子は種子に、子実体は花に相当します。

日本には4000～5000種類のきのこが存在していると言われていますが、明確な数についてはつかめていません。このうち食用として用いられているきのこは約100種類、一方、毒きのこは40種類程度が知られています。しかし、食・毒不明とされるきのこもありますので注意が必要です。

問5

正解 ○

解説

バナナ（甘蕉・実芭蕉 / 学名 Musa spp.）はバショウ科バショウ属の食用品種の総称。いくつかの原種から育種された多年草であり、その果物がバナナです。

原産は熱帯アジア、マレーシアなど。生産地は台湾、インド、ブラジル、フィリピン、エクアドルなど、アフリカ諸国でも重要な食料となっています。

問8

正解 ③こんにゃく

解説

こんにゃくの原料は「こんにゃく芋」

こんにゃく芋をおろすか粉砕したものに水を加えて練り、消石灰を加えて固めた食品。成分のほとんどが水分で、栄養価はないが、食物繊維が豊富に含まれています。

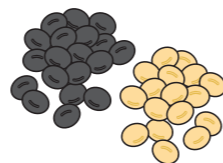
板こんにゃく100g中2.2g（精粉使用の場合）から3.0g（生芋使用の場合）含まれており、これは、さといも1.9g、さつまいも1.7g、じゃがいも1.1g（ともに生100g中の数値）よりも多く含まれています。



問7

正解 大豆になる

解説

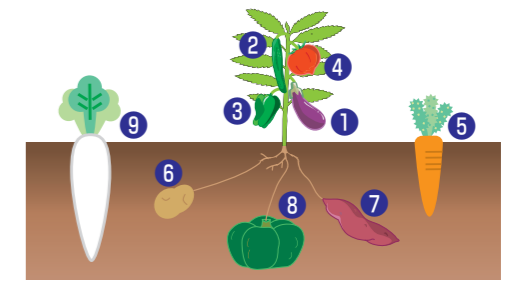


枝豆は枝豆という種類があるのではなく、大豆の未熟な実を指しています。もともと、大豆を収穫する1ヶ月ほど前に取った豆が「枝豆」です。現在では、大粒で甘味が強い枝豆専用品種としても栽培されています。

今では冷凍技術のおかげで1年中食べられますが、国産物は初夏から秋にかけて出荷され、真夏が最盛期です。その名前の由来はずばり、「枝付きの豆」なので「枝豆」。まあ、なんて素直な名前（笑）。他にも、田んぼのあぜで栽培するところから「あぜ豆」、サヤを摘み取るので「サヤ豆」とも言われています。

# 産直クイズ問題

- 問1. トマトは下の方から熟す ○か×か
- 問2. 右の絵の中で間違っただ実のつきかたをしているのはどれ？
- 問3. 牛乳を1ℓ出すのに牛さんの血はどれくらい必要？
- 問4. 無洗米は米ぬかを取り除いたものである ○か×か
- 問5. バナナは草である ○か×か
- 問6. きのは植物である ○か×か
- 問7. 畑になった枝豆を収穫せずに放置するとどうなるでしょうか？
- 問8. 大豆でつくられていないものはどれ？  
①豆腐 ②醤油 ③こんにゃく



## 解答と解説

問2

正解 ⑧

解説

カボチャは地下ではなく地表に育ちます。ウリ科カボチャ属。原産地はアメリカ大陸。日本に紹介されたのは、室町時代末期の頃だと言われています。ポルトガル人により、カンボジアから入ってきた野菜なので、カンボジアが訛り、かぼちゃになったそうです。ツルが地面をほうように広がりツルの途中に実がつかます。



問1

正解 ○

解説

右のイラストはコープしがの人気商品「一株トマト」の生育状況を描いたものです。

トマトは、地面に近い方から色づいてきます。ツルが上に伸びるにつれて実をつけていきます。このように下から順に色づいてきます。

